

10月29日(日)・大会2日目 9:30~10:50 (会場:F403) (80分)

●セッション【7】

『組織科学』編集フォーラム

◎立本博文(組織科学編集長)
古瀬公博(組織科学副編集長)
島貫智行(組織科学副編集長)
大木清弘(組織科学副編集長)

◎セッション・リーダー

[概要]

学会誌『組織科学』では、若手研究者からの投稿を拡大するために、様々な改変や新施策を行っています。投稿者に関する投稿規定の改定(文字数の緩和(2万文字)、英語原稿の受付)や査読期間の短縮(70日/40日)についてご説明します。また、昨今の大きな変化として、CFP形式の原稿募集を多用することで、会員からの投稿機会を拡大しています(CFP: call for paper)。とくに、若手研究者にとっては、若手 CFP・大会 CFP・テーマ CFP のように年3回の投稿機会があります。また SE・査読者に対してはその貢献を表彰する賞も設置しています。これらの点についてご説明するとともに、会場とのインテラクションを通じて、『組織科学』の編集方針の理解を共有していきたいと思います。

[参加者へのメッセージ]

昨今『組織科学』では大きな改革を行っており、学会会員が学会誌を積極的に活用できるような仕組み作りをしています。とくに若手研究者にとっては、就職の際の業績リストにもつかえるような誌面を目指しています。ぜひ、皆様のご来場を心待ちにしています。